

私立大学のFM業務におけるスキルの取得と活用-1

ー長年にわたるキャンパスFMへの取組みー

小山 武

■3つの視点からFM実践

私は、私立大学のファシリティマネジメント(FM)業務において、スキルの取得と活用を、30年近くにわたり、以下の3つの視点から実践いたしました。

(その1) FM関連著書・論文・投稿・編集などの実践

著書の執筆を行う(共著)と共に、11以上の論文、雑誌、機関誌などへ、キャンパスFMの視点から投稿および編集に参加しました。

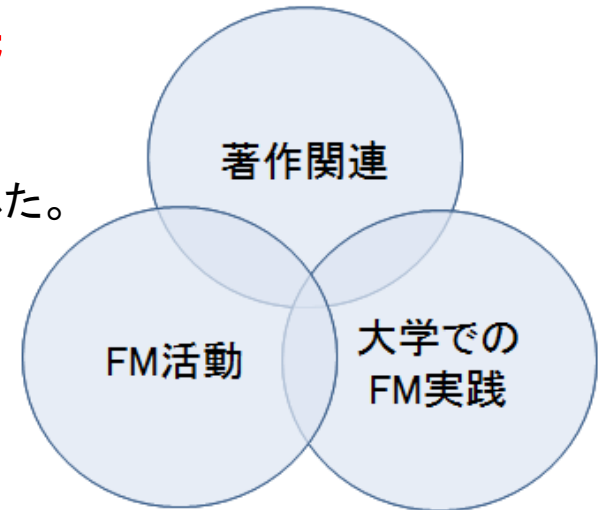
(その2) 公的機関におけるFM活動

おもに、下記の4団体において、キャンパスFMの視点から積極的にFM活動を行い、FMの普及・啓発に寄与しました。

- ① 私立大学環境保全協議会、
- ② 日本ファシリティマネジメント協会(JFMA)、
- ③ 大学行政管理学会(JUAM)ファシリティマネジメント研究会
- ④ NPO法人 研究実験施設・環境安全教育研究会(REHSE)等で活動。

(その3) ファシリティマネジャーとして大学でFMの実践

芝浦工業大学において、1976年に技術職員(1級建築士)として勤務して以来、総務業務・施設整備業務に携わると共に、ファシリティマネジャー資格を取得、さらにキャンパスづくりの発注から竣工までのプロジェクト管理をFMの視点から実践しました。特に、豊洲キャンパス(2005竣工)と芝浦キャンパス(2009竣工)において事務局業務も行い、FMの視点からの報告書もまとめました。



私立大学のFM業務におけるスキルの取得と活用-2

ー長年にわたるキャンパスFMへの取組みー

小山 武

■FM関連著書・論文・投稿・編集など

・主な著書(共著)

- ①『ファシリティマネジメント
ー情報化時代の戦略的空間経営ー』
 - ②『21C New キャンパスの創造と計画』
 - ③『キャンパスFMガイドブック 2000
ー大学施設の戦略的なマネジメントのためにー』
 - ④『JFMA 2001キャンパスFM米国調査団報告書』
 - ⑤『総解説 ファシリティマネジメント』
 - ⑥『「大学のISO14000」
ー大学版・環境・マネジメントシステムー』
 - ⑦『私立大学マネジメント
ー私大経営の新たな展開に向けてー』
- (その他論文・投稿等については3つに分けて分類整理しました。応募書類【書式2】を参照ください。)
- A. キャンパスFMの必要性の発想と展開
 - B. 普及・啓発活動 [講演・執筆・研修等のコーディネート]
 - C. キャンパスFMの実践・キャンパス整備活動
[委員会等・キャンパス整備におけるマネジャー・コーディネータ]

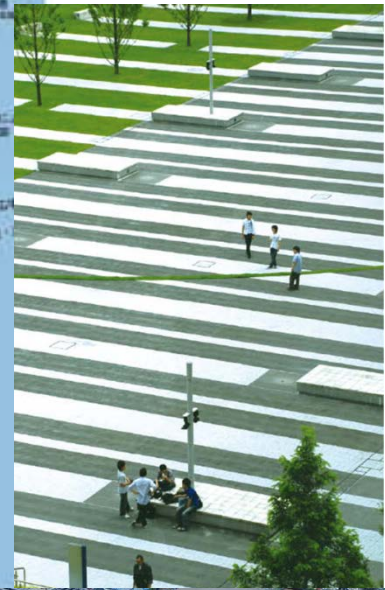
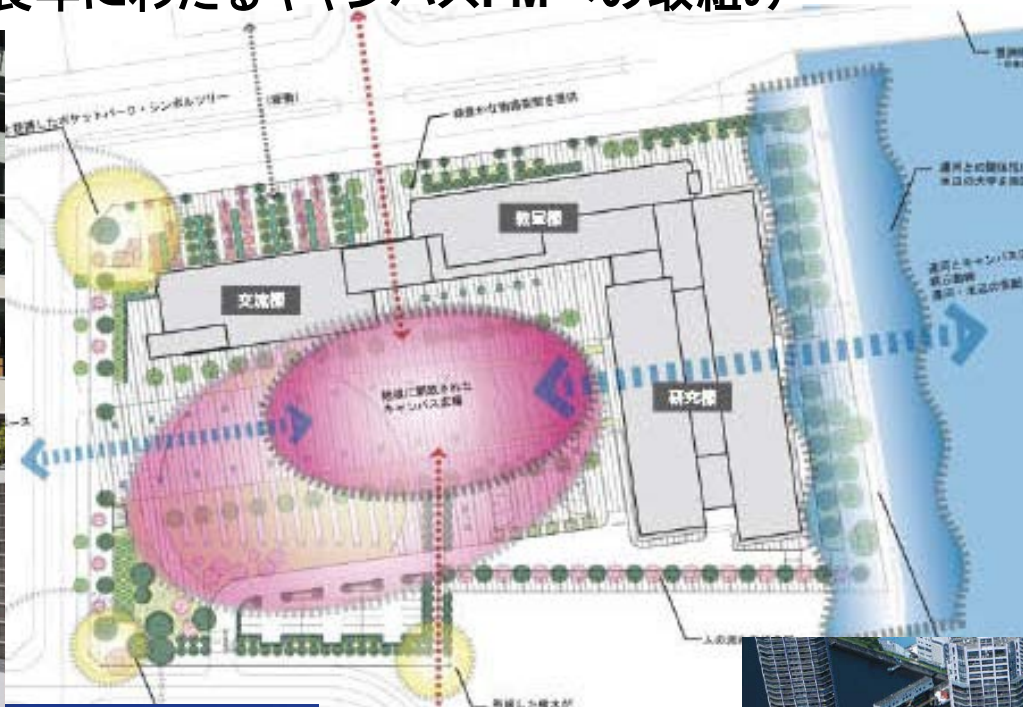
■大学(芝浦工大)でのFMの実践

- ① 芝浦キャンパス外装整備発注窓口 1976～1979
- ② 基幹設備の整備担当 1983～
- ③ 芝浦キャンパス諸室再配置整備 1984～86
- ④ 新学部設置認可申請 1987～91
システム工学部棟竣工 1991.2 開学 1991.4
- ⑤ 大宮キャンパス第2学生クラブハウス 竣工(1992.3)
- ⑥「シンボルマークとロゴタイプ」の決定(1993.7)に参加
- ⑦ 財政計画委員会の委員として収益事業会社
「(株)エスアイテック」設立(1998.6)への貢献
- ⑧ 先端工学研究機構 竣工(1998.2)
- ⑨ 創立70周年記念事業委員会・建設委員会に参加
会津高原高杖セミナーハウス 竣工(1998.9)
- ⑩ 柏高等学校併設: 柏中学普通教室棟 竣工(1999.3)
- ⑪ 各校地の施設配置・面積、諸室配置図面情報の
整備(1997～2000)
- ⑫ 大宮キャンパス第1学生クラブハウス 竣工(2001.2)
- ⑬ 大宮キャンパス第3学生クラブハウス 竣工(1999.10)
- ⑭ ISO14001 認証取得(大宮キャンパス)(2001.3)
- ⑮ 柏中学・柏高等学校: ホール棟 竣工(2002)
- ⑯ 豊洲キャンパス校舎棟 竣工(2005.9) 開校2006.4
- ⑰ 芝浦キャンパス新大学棟 竣工(2009.1) 開校2009.4

私立大学のFM業務におけるスキルの取得と活用-3

一長年にわたるキャンパスFMへの取組み

小山 武



豊洲キャンパス開校
2006.4

